

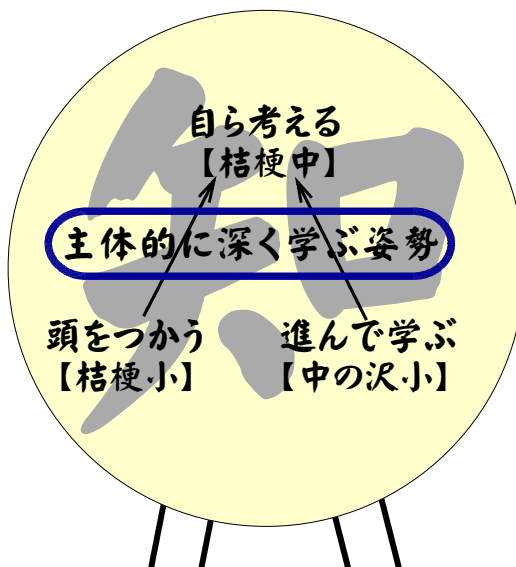
桔梗中学校区 学校の教育目標関連図

函館市立桔梗中学校・桔梗小学校・中の沢小学校

桔梗・石川の地で豊かに育つ児童生徒

～15歳の姿に3校で責任を共有する教育活動の推進～

自他のよさを活かし
意欲的に学び
社会を生き抜く力を
育む “3つのi”



安心感と充実感を

創り出す

資質・能力を

身につける

学びや地域の資源を

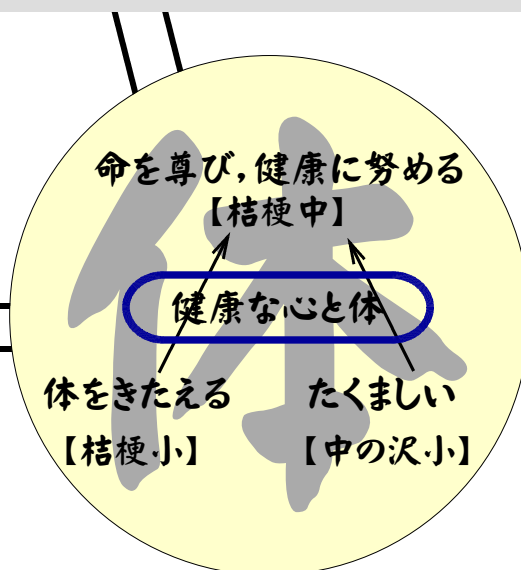
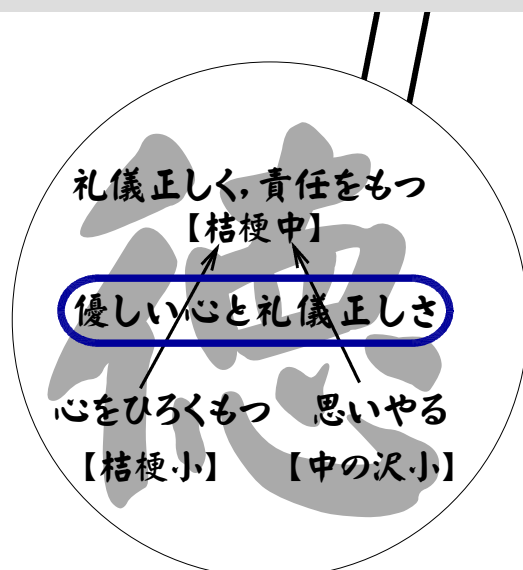
つなげる

桔梗小学校と中の沢小学校では、自校の教育目標の実現を目指しつつ、次の点に留意して桔梗中学校の教育目標に迫る児童を育成します。

■知の側面では、主体的に深く学ぶ姿勢を育むため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践に取り組み、その成果を三校で交流します。

■徳の側面では、優しい心と礼儀正しさを育むため、明るい挨拶や元気な返事、相手を思いやる言葉遣いの指導を徹底します。

■体の側面では、健康な心と体を育むため、家庭と連携して規則正しい生活習慣を確立するとともに、運動に親しむ機会の確保に努めます。



令和6年度 桔梗中学校グランドデザイン

＜校訓＞ 響生

学校教育目標

～響かせ合おう心と体を～

- 自ら考える
- 礼儀正しく、責任を持つ
- 命を尊び、健康に努める

育成をめざす資質・能力

- 基礎的・基本的な知識・技能を身につけた生徒
- 自ら進んで考え、判断し、表現・行動することができる生徒
- 礼儀を基底とし、他者との関わりの中で、より良い人間関係を形成できる生徒
- 自己の願いの実現に向けて、根気強く、たゆみない努力を継続的にできる生徒
- 心身を鍛え、人間性豊かに、未来に向かって逞しく歩むことができる生徒

重点教育目標

「自分の考えをもち、適切に伝えることができる生徒の育成」

自分の考えをもつ生徒

課題・現状・将来などについて、その時々の思いつきや感情ではなく、また周囲の雰囲気左右されるのではなく、これまでの学習や経験（見聞き、体験等）などを踏まえた明確な根拠にもとづいて、自分の考えをもつことができる生徒

適切に伝えることができる生徒

伝える手段や手順などを工夫したり、相手の表情や状態などから伝え方を改善したりするなど、しっかりと伝える相手（聞き手）を意識して、相手がより正確に理解できるように、相手により分かりやすく伝えようとする生徒

学校経営の基本方針

すべての生徒の学びの保障

豊かな人間性の育成

教育環境の充実

経営上の重点

- ① 学校教育目標、重点教育目標の具現化を図る教育課程の編成・実施
- ② 有機的・効果的・効率的に機能する組織づくり
- ③ 特別な教育的支援を必要とする生徒への支援・指導の充実
- ④ 教員としての力量向上を目指した校内研修の推進と服務規律の徹底
- ⑤ ICT環境の整備及び職員のICT活用能力の向上
- ⑥ 危機管理を徹底し、すべての生徒にとって安心・安全な学びの場の確立
- ⑦ 学校・家庭・地域と協働し、地域とともにある学校の創造

指導上の重点

- ① 基礎基本の定着と「個別最適な学び」「協働的な学び」に向けた授業改善
- ② ICT（一人一台の端末等）を効果的に活用した学習指導の推進
- ③ 「豊かな人間性」を育む道徳教育・特別活動の充実
- ④ 自らの在り方や生き方を考えるキャリア教育（進路指導）の充実
- ⑤ 生徒指導の機能を生かし、生徒の主体性を育む教育活動の推進
- ⑥ 主体的に、生命を守り、健康を維持する健康・安全指導の充実
- ⑦ 多様なニーズに対応した特別な教育的支援（リモート授業等）の充実

- 「サポートルーム」の充実
- 基礎的・基本的学習事項の定着を目指した指導の充実
- 評価にもとづく授業の改善
- 一人一台の端末を活用した主体的・協働的な学びの促進
- 考えを共有する道徳の授業
- 自主性を育てる特別活動
- 学年段階に応じた進路指導
- 支持的風土づくりを目指した学級経営
- 危機管理体制の整備と充実
- 教師のICT活用能力の向上
- CSを中心とする地域連携
- 小中連携の推進・充実
- 業務改善のさらなる推進
- 職員の服務規律の徹底



令和6年度の重点目標
他を思いやり支え合う子供の育成
ウェルビーイングな学校づくりを目指します

具 現

令和6年度 重点教育目標具現のためのキーワード

～生徒指導の3機能を働かせる指導・支援の充実～

・自己決定の場を与える ・自己存在感を与える ・共感的人間関係を育成する

保護者・地域のウェルビーイング

やってみよう！
自己肯定感・有用感・満足感・自己実現

ありがとう！
自他を認めつながり大切にする気持ち

なんとかなる！
幸せを実現するための楽観性

ありのままに！
自分のペースで幸せに向かう力

児童・職員のウェルビーイング



<心理的安全性を高める取組>

全教職員の協働体制の構築
働き方改革による教育の質の向上
保護者・地域との連携協働（CS）

学ぶ楽しさを実感できる授業
いじめ・不登校「0」を目指す
体力向上等の取組の推進

特別支援教育の充実
関係機関との積極的な連携
法令遵守と服務規律の保持

重点1

重点2

重点3

「主体的・対話的で深い学び」の
実現に向けた授業改善

- ☆日々の授業改善
 - ・見通しをもって取り組める学習過程の工夫
 - ・考えを伝え合う場の設定の工夫
 - ・授業のユニバーサルデザイン化（視覚支援等）
 - ・ICTの意図的・計画的・効果的な活用
- ☆学級経営の充実
 - ・子ども理解支援ツール「ほっと」をもとにした実態把握
 - ・互いを認め合う人間関係の構築
- ☆家庭学習の習慣化と自主学習
 - ・家庭学習の手引に沿った振り返り読書の習慣化（学校図書館司書との連携）
 - ・低学年から自ら学ぶ経験をもつ
 - ・自主学習に意欲を高める授業展開

かかわりを深める交流活
「つながる」から「ひろげる」へ

- ☆学級・学年の枠を越えた交流活動
 - ・縦割り清掃 ・児童会活動
 - ・学校行事（運動会・学習発表会等）
 - ・各教科等（外国語活動、外国語、総合的な学習の時間等）の時間を活用した取組の充実
- ☆地域・保護者や他校（園）との多様な交流・幼稚園、保育園等との交流
 - ・地域行事との連携
 - ・合同防災訓練や合同清掃活動の実施
- ☆相談できる環境づくり
 - ・スクールカウンセラー（SC）等の積極的な連携
 - ・多様な学びに対応する校内支援センター（スタールーム）の設置、支援体制の充実・学びの場の確保
- ☆コミュニティ・スクール（CS）としての活動の充実
 - ・地域コーディネーターとの連携を通じた地域・PTAとのかかわりの強化

体力の向上と
決まりよい生活づくり

- ☆体力向上の取組
 - ・児童会活動と結びつけた運動の日常化の意欲喚起と環境整備の充実（鉄棒運動、なわとび運動等）
 - ・生活リズムチェックシートを活用した振り返りの充実（保健指導）
- ☆デジタル・シティズンシップ教育の取組
 - ・情報モラル教育の計画的な取組
 - ・インターネット上での誹謗中傷やいじめ等への指導の徹底（見逃さない）
- ☆「当たり前のことを当たり前にする」意識の醸成
 - ・児童会活動と結びつけた取組の工夫（あいさつ・感謝→習慣化）
 - ・学習規律の徹底と振り返りの工夫（価値付けと軌道修正）
 - ・道徳教育の充実

令和6年度桔梗小学校学校経営グランドデザイン

教育目標 「心豊かな桔梗の子」

心をひろくもつ子(徳)

頭をつかう子(知)

体をきたえる子(体)

生活改善

(1)豊かな心を育む道德教育の推進

(2)子供一人一人が主語となる学び充実を図る主体的・対話的で深い学びに向かう授業の構築

(3)生命を尊重し、自ら心身を鍛える健康安全教育

授業改善

(4)自主的、実践的な態度を育て、よりよい人間関係を築く特別活動
(5)自発的、自立的な態度を育む生徒指導
(6)一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育

指導上の重点～子供一人一人が主語となる学びの充実に向けて～

業務改善

経営の重点～改革への取り組み(ICTも利活用)を一層を生かして～

《 一人一台端末利用の日常化に向けて 》

⇒ 教育目標 + 情報活用能力の育成(学習の基盤)

学びで利用
手軽に利用

子どもが主語になる学習や日常生活への改善

指導者の資質・能力の向上	子どもへ指導すること
・各教科等での 問題解決的な学習 個別最適な学び、協働的な学びの 一 体的な学び の実現に向けた GoogleWorkspaceの活用 ・授業以外、校務での GoogleWorkspaceの活用 ・スマイルドリルの活用	・学習規律(利用の約束等) ・情報モラル(含保護者) (発達の段階に合わせた内容) ・GoogleWorkspace利用スキル ・キーボード入力スキル ・利用可能となるアプリやサイトの利用 ・端末も利用した自律的な学習方法 (自由進度型学習)

《 一人一台端末利用の日常化に向けて 》

⇒ 教育目標 + 情報活用能力の育成(学習の基盤)

学びで利用
手軽に利用

子どもが主語になる学習や日常生活への改善の利用例

登校時	◎利用(慣れる、親しむ、学びに生かす)	・クラスルームで予定確認する ・授業等で利用する資料(データやファイル)を見る ・調べる、整理・分析する、まとめる・表現する ・諸活動や生活に生かす	学習規律 情報モラル
授業 (含 業間等)	◎キーボード入力	・「キーボー島アドベンチャー」サイト利用等や学習の場等での入力機会を通しスキルの向上を図る	
下校前	◎スマイルドリル、教科書、教材等の利用	・端末も利用し基礎基本の徹底を図る(例 教科書2次元コード)	
家庭(下校後)	◎アウトプットに利用	・予想、まとめ、振り返り等 ・表現活動(発表物等)	